

令和5年2月 斐伊川水系水質情報

令和5年2月(宍道湖8日・中海6日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	4. 2	△	平 年 並 み	2. 6	○	良 好	2. 9	○	良 好
全窒素	上層	0. 67	×	やや高い	0. 51	×	やや高い	0. 82	×	やや高い
全リン	上層	0. 031	△	平 年 並 み	0. 025	○	良 好	0. 043	△	平 年 並 み
Chl-a	上層	11	○	良 好	7. 3	△	平 年 並 み	4. 0	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	4, 640	×	やや高い	9, 000	△	平 年 並 み	5, 820	○	やや低い
	下層	5, 080	×	やや高い	17, 600	△	平 年 並 み	13, 100	△	平 年 並 み
溶存酸素	上層	13. 2		やや高い	12. 6		やや高い	12. 3		平 年 並 み
	下層	13. 3		やや高い	6. 4		平 年 並 み	12. 2		やや高い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	3. 5	やや上昇	3. 4	下降	3. 2	横ばい
全窒素	上層	0. 65	横ばい	0. 37	上昇	0. 82	横ばい
全リン	上層	0. 028	横ばい	0. 021	横ばい	0. 028	やや上昇

宍道湖の透明度は3. 1mから2. 4mと下降したが、かなり良好。中海の透明度は2. 7mから3. 0mとやや上昇し、良好。米子湾の透明度は3. 0mから2. 6mとやや下降したが、良好になっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合は<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

- 前月値±標準偏差値以上、以下の変化..... 上昇、下降
 注) 平均値±標準偏差値全体のおよそ 68.2%
- 前月値±標準偏差値の 1/2 以上、以下の変化・・やや上昇、やや下降、横ばい
 平均値±標準偏差値の2倍・・全体のおよそ 95.5%
- 前月値±標準偏差値の 1/2 以内の変化・・横ばい
 平均値±標準偏差値の3倍・・全体のおよそ 99.7%